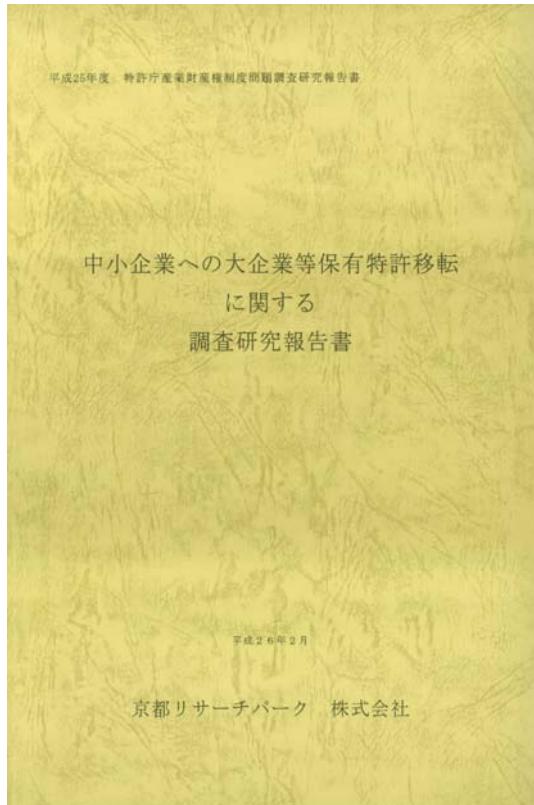


平成25年度 特許庁産業財産権制度問題調査研究報告書
「中小企業への大企業等保有特許移転に関する調査研究報告書」掲載記事

津山信用金庫

当庫の知財ビジネスマッチングへの取り組みが「中小企業への大企業等保有特許移転に関する調査研究報告書」に掲載されました。（注）



（注）

知財ビジネスマッチングとは、大企業が保有する開放特許等を中小企業の新品開発や新規事業展開に繋げるべく、自治体や地域の金融機関等が連携して、大企業と中小企業の出会の機会を提供する活動をいいます。

（補足）

「技術マッチングマート岡山」（26年1月開催）には、岡山県下の企業42社が参加しました。当庫紹介参加数8社は、当庫の営業エリアの状況からすると極めて多かったため、今後の参考事例として当庫の取り組みが本報告書に掲載されました。

<掲載記事> *（ ）は当金庫補足。補助金申請状況は最新情報に更新しています。

（津山信用金庫の）目指す行動スタイルは、「お客様の悩みを知り、その課題を解決していく行動の実践」よろず相談信用金庫である。地域の活性化を目的に地域創造課（26年4月より「地域創造室」に改称）を設置したが、信金中央金庫の景気動向調査対象先を取引の有無に関わらず14社から200社まで増加させ、同課と支店長が同行して調査だけでなく様々な企業の情報や相談も受けている。同課では営業担当者の日報を見て営業のフォローを行っているが、営業店を通じて補助金情報を取引先に提供した結果、（26年5月19日までに、203件補助金の案内を行い、うち43件が申請され、31件を補助金に繋げている。こうした活動により収集した情報をもとに）大企業の特許に興味を持ちそうな中小企業40社をリストアップし、訪問して紹介することで岡山の「技術マッチングマート」には8社が参加、4社が大企業との面談に繋がっている。面談した2社は、同信用金庫がメインバンクでなかったが、様々な情報を提供されることに感謝していた。同信用金庫の役員は「地元企業の課題を知り、活動している金融機関が、大企業の特許を地域の中小企業に紹介するのは難しいことではない、津山市内での開催であれば20～30社の参加はあった」と言っていたが、中小企業の技術を知っていることが、知財ビジネスマッチングに繋がっていると思われる。

以上



作州地域のパートナー・よろず相談信用金庫
津山信用金庫

